

第37号

NPO 法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク
Newsletter 2025（令和7）年 8月 6日 発行

のばす会・ネットワーク便り

本部事務局 〒 475-0817 愛知県半田市東洋町 1-8 アイプラザ半田 109, 110 号室

☎ 080-1622-5717

代表理事 村瀬 明子

✉ E-mail nobasukai1993@gmail.com

web http://www.f-school.jp/nobasukai/



令和7年度 総会のご報告

代表理事 村瀬 明子

本年度通常総会は、5月10日（土）13時から14時まで、アイプラザ半田第1会議室で開催されました。昨年度事業及び決算報告、監査報告に続いて今年度事業計画案及び予算案、理事の重任（再任）が審議されそれぞれ可決されました。

昨年度ののばす会では、14名程度の利用者がいました。その中でも小学校や中学校の卒業生が、自分たちの進路について考え、希望通りに進学できたことは本当にうれしいことで

した。そのために支えてくださった保護者の方々、スタッフ等関係者の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

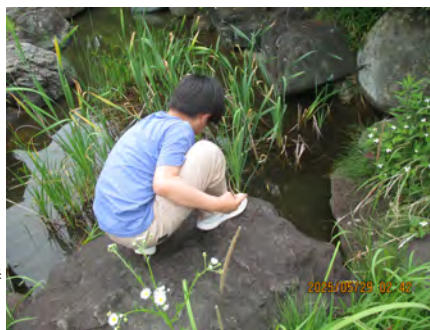
さて、会計の収支報告では、正会員、賛助会員、寄付金などによる経常収益が、104万4,216円でした。これに対して、経常費用はスタッフ交通費、通信運搬費、消耗費などが、121万3,094円でした。昨年同様、収支としては、赤字でしたが、予算を使い切り、なおかつ十分な活動ができた結果であると思っています。なお、赤字分は前年度からの繰越財産から補填しました。のばす会は、会員の皆様からの会費や多くの方々からの寄付金で賄われています。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

今年度、事業計画案として11月30日（日）アイプラザ半田にて「発達について」考える講演会も予定しています。また、木曜日二部学習支援では、過年度生、高校生、高校中退をした子供たちのための学習の場と居場所の提供を整えていきたいと計画しています。なお、のばす会の詳細は、ホームページのほか、日本財団公益事業コミュニティサイト [CANPAN] でもご覧になれます。今後とも皆様からのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

フリースクールは今

スタッフ 江村 真寿美

私がのばす会に参加するようになって10か月が経ちました。今年の初め頃にけん玉が流行っていた時、子ども達はどんどん上達していくのですが、なかなか上手にできない私は子ども達にコツを教えてもらいながら練習をしました。私の練習に子ども達は根気よく付き合ってくれました。そのおかげで玉がお皿の上に乗ったその時、「できた！できた！」と手を叩いて喜んでくれたり、「がんばったね」と褒めてくれたりするなど、子ども達の優しい気持ちがとても嬉しい出来事でした。最近、のばす会にやってくる子ども達は少なく、静かな日が多いです。ランチ作りの日も子ども達の参加も少なくすこさみしいです。6月のランチ作りの時、デザートにピワを食べたのですが、ピワを知らない子がいました。家では食べたことのないものが出てきたり、初めての味に出会ったりと新しい発見があるかもしれないランチ作りにもっとたくさんの子ども達が参加して、一緒に作ったり食べたりできたらいいなと思いました。



春休み寺子屋の様子

スタッフ 伊藤 里香



小学生 11 名、中学生 3 名、高校生 8 名、計 22 名が参加しました。参加者の中には、小学校、中学校を卒業したばかりの子も参加してくれて、嬉しかったです。

3 月の 3 日間の活動内容をご紹介します。

25 日は「ミニパンケーキ作り」でした。みんな大好きおやつ作り、パンケーキにフルーツや生クリームをトッピングして、お店屋さんに出てくるような盛り付けをしている子もいました。

26 日は「軽運動室で遊ぼう」のテーマで、卓球を時間いっぱい多くの子ができるようにしました。順番待ちの子は、的当てゲームを楽しみました。27 日は「大道芸パフォーマンス」です。

日本福祉大学の大道芸サークルの学生さん 2 名が中庭で、ディアボロという中国こまや、バランス芸、バルーンアートなどを披露してくれました。どれも本格的で、子どももスタッフもパフォーマンスを夢中になって観たり、体験したりして一緒に楽しむことができました。

そのご縁から、嬉しい繋がりもできました！企画をお願いした大学生 2 名が、のぼす会の 2 部学習支援スタッフとして、中高生の学習と居場所に関わってもらうことになりました。中学校を卒業した後も繋がっていける場所として、大事にしていきたいです。

人は相手の言葉をそのまま受け取るのでしょうか？ 言葉から “こぼれ落ちる” ものがある

臨床心理士 米村 高穂

私が大学院時代に指導教員の先生から、「臨床心理士は、言葉から “こぼれ落ちる” ものを拾うのが仕事なんだよ」と言われたことがあります。先日、我が家にソーラーパネルの営業に来た方がいました。その方は、「今なら無料です」「だからぜひ」とアピールを必死にしていました。そのことを妻に報告すると、「ただより怖いものはない」と一蹴されました。その時、上記の先生の言葉を思い出したのです。

人は言葉だけを受け取るのでしょうか？例えば、不登校の子どもたちに関係が作れていない先生や焦っている母親が「絶対学校に行った方がいいよ。将来のためになるから」と言ったところで、子どもたちはどのように受け取るのでしょうか？子どもは「自分たちの保身のためじゃないか？」とか「全然自分の気持ちをわかってくれない。自分の思いばかりじゃん…」などと、先生や母親の「言葉からこぼれ落ちるもの」を受け取るのではないのでしょうか？私はこういうズレを思うと、言葉も大切なのですが、それ以前の子どもの現状に対する「認識」「理解」「感情」などが大切ではないかと考えます。逆に言えば、どれだけ良い言葉を言っても、「甘えている」「怠けている」などと思っているようでは、最初の営業マンと同じような “胡散臭さ” が相手に伝わると思います。ちなみに、カウンセリングを受ける意味の一つは、このような「心構え」をつくることも含まれます。だから、ちょっと受けただけではダメで、積み上げるように一定期間受ける必要があるのです。人の価値観には、つくられてきた歴史や背景がありますから、おいそれと変わることをの方が珍しいと思います。

皆さんも、自分の発している「言葉」のチェックはされるかと思いますが、言葉から「こぼれ落ちる」相手に向けている感情や理解も見直してみるといいと思います。なぜ、目の前の大切な人に伝わらないのか、わかり合えないのかが見えてくるでしょう。自分の凝り固まった考えをほぐすには時間がかかりますから、慌てず冷静に話を聴いてくれて、ポツリポツリとヒントくれる専門家に頼るのも一つだと思います。

半田発！自ら選択し、未来を創ろう学習支援

不登校や引きこもりの人たちにとって中学を卒業すると居場所や学習する場所がほとんどありません。そんな人たちの相談に乗ったり、学習支援活動をしたりする場所を提供します。学習支援のために学習専門のスタッフや大学生、のばす会のスタッフも配置します。自己選択によって自主学習につなげ、自己肯定感を持てるような活動にしたいと思っています。

対象は高校受験を目指す中学生や、卒業はしたけれど高校に行きたくなくなった人、高校中退して転校や高校認定試験を目指す人、通信制高校での学習に困っている学生さんです。半田市内だけでなく、市外の人も参加できます。

(1) 夏休み学習支援は8月4日(月)～7日(木) 10時から14時までです。

(2) 2部学習支援は毎週木曜日午後2時30分から5時までです。

料金等詳しくはホームページをご覧ください。

今後の予定と活動

のばす会の終業と始業 終業：7月18日(金) 始業：8月26日(火)

夏休み寺子屋 7月23日(水)～25日(金) 8月18日(月)～21日(木)

夏休み学習支援 8月4日(月)～7日(木) 10時～14時

のばす会講演会 11月30日(日)(発達について) 13時20分からアイプラザ半田研修室



ご協力ありがとうございました。皆様の志が子どもたちの未来へとつながります。

<寄付者の皆さま> 令和7年4月～7月(掲載可の方々です) 順不同 敬称略

新村淳彦、足立香織、榎本弘子、佐野敏行、稲垣豊、竹尾裕子、竹内織江、新原由子、巽幸代、九澤郁子、榊原紀美子、伊藤八千穂、青木貴子、黒木伊津子、清澤雅章、山田ゆき、竹内二三、榊原友恵、石黒辰彦、小出由里子、山内睦代、高野尚子、木村智恵子、井戸裕二、石黒雄大、長谷川元洋、内田榮一

<ろうきん寄付システムの皆様> *7月末まで 毎月のご寄付ありがとうございます。

河野佑介、青木貴子、明石和也、伊藤慶子、大場直美、押田達也、加藤杉子、小島孝枝、佐藤玲子、近藤誠、柴山和之、平岡幸廣、佐藤絵里、柳生幸子、柳橋利枝、脇田裕恵、和田誠、巽幸代、伊藤敦、伊藤八千穂、榊原紀美子、村瀬明子、赤松由隆、浜田久子、新村由美子、磯貝明子、澤田大輔、柴田豊和

<高額寄付の皆様> 笹井孝介、吉田裕行、村瀬明子

<助成金> 半田市子ども育成課 30,000円(春休み寺子屋)

<物品の寄付> *半田市社会福祉協議会フードバンク(教材18冊、教具)、バームクーヘンなどのお菓子やお土産、教材・文具、など多くの方々からのご寄付ありがとうございました。

<書き損じハガキ・未使用切手のご寄付の皆様> 榊原知子

相談に来られた方や過去に籍された方の通信費に使わせていただきます。

<こどもサポート証券ネットによる支援物資>

- ・岩井コスモ証券KK(レトルトカレー14個、カニ缶3個)
- ・岡三証券KK(お米5キロ1袋)

皆さんの寄付でのばす会は成り立っています。ご支援ください。
年会費・寄付金の振込先 ☐ 年会費 2,000円 ☐ 寄付金 1口 1,000円から

①知多信用金庫 美原支店 口座番号 普通 2102161

名義：特定非営利活動法人 子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

②東海労働金庫 半田支店 口座番号 普通 4500549

名義：特定非営利活動法人 子どもたちの生きる力をのばすネットワーク
代表理事 村瀬明子

③ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号 00810-9-154412

加入名：特定非営利活動法人子どもたちの生きる力

スタッフ募集！

一緒に学習したり、遊んだりして、寄り添ってくれる人 週に1回でもかまいません。詳しくは下記までご連絡ください。

連絡先

080-1622-5717

令和6年度 活 動 計 算 書

自 令和6年 4月 1日 至 令和7年 3月31日

(単位：円)

科 目		金 額	
I 経常収益			
1. 受取会費			
年会費	106,000		
正会員受取会費	187,500		
賛助会員受取会費	44,185	337,685	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	491,400		
資産受贈益	24,637	516,037	
3. 受取助成金等			
受取助成金	170,000	170,000	
4. 事業収益			
フリースクールによる青少年支援活動事業収益	0		
スタッフのカウンセリング技法研修事業収益	0		
青少年の健全育成に関する事業収益	20,000	20,000	
5. その他収益			
受取利息	494		
雑収益	0	494	
経常収益計			1,044,216
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
諸謝金	35,000		
印刷製本費	0		
会議費	7,318		
旅費交通費	491,860		
通信運搬費	3,880		
研修費	0		
教材費	5,736		
行事費	11,139		
消耗品費	126,297		
水道光熱費	0		
賃借料	16,390		
雑費	400		
その他経費計	698,020		
事業費計		720,916	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
広告宣伝費	38,500		
印刷製本費	8,420		
会議費	21,800		
旅費交通費	81,980		
通信運搬費	203,360		
消耗品費	60,122		
教材費	0		
賃借料	4,710		
保険料	51,400		
支払手数料	482		
諸会費	10,440		
雑費	33,860		
その他経費計	515,074		
管理費計		515,074	
経常費用計			1,213,094
当期経常増減額			△ 168,878
III 経常外収益			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正益		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 168,878
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			△ 168,878
前期繰越正味財産額			1,151,441
次期繰越正味財産額			982,563